

年頭のごあいさつ

有田川町長 中山 正隆

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかな輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政へのご理解とご協力をいただいておりますことに對し、心からお礼申し上げます。

昨年は、能登半島地震をはじめ日本各地で大きな災害が発生し、さらに昨年8月には宮崎県での地震発生に伴い南海トラフ巨大地震臨時情報が発表されるなど、災害への備えの大切さを痛感する一年となりました。町民の皆さまには、能登半島地震義援金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。当町においても石川県能登町に職員を派遣するなど復興支援に取り組んだところであります。年頭にあたり、今一度防災意識を高めていただきますとともに、有田川町もこれまで以上に防災・減災の取り組みを進めてまいります。

町内に目を向けてみますと、昨年7月「しみず温泉」がリニューアルオープンし、約2カ月で早くも入館者数が1万人を超えるなど、多くの方に楽しんでいただき、周辺地域ににぎわいをもたらしています。これを契機に、更なる地域の活性化を図るべく、産業・観光業の振興に注力します。また本年は藤並公民館、御霊学童保育施設、金屋第一こども園などの整備が予定されており、子育て環境の充実を図るとともに、町民の安心・安全な暮らしを守る町として、さまざまな環境整備により一層まい進してまいります。

今年の干支は「巳」。巳年はこれまで努力してきたことが実を結びはじめ、新たな挑戦や変化に前向きになる年といわれています。合併してまもなく20周年の節目を迎える有田川町は、均衡ある発展と一体的な町の醸成に継続して取り組んでまいり

ました。これまでの取り組みを大切にしなが、更に新しいチャレンジを重ねていくことで、今後の有田川町が皆さまにとって住み続けたいと思えるような魅力ある町となるよう町政運営を進めてまいります。町民の皆さまには、今後ともより一層のご参画とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとって幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。